



『アンデルセン童話』原画 1957年

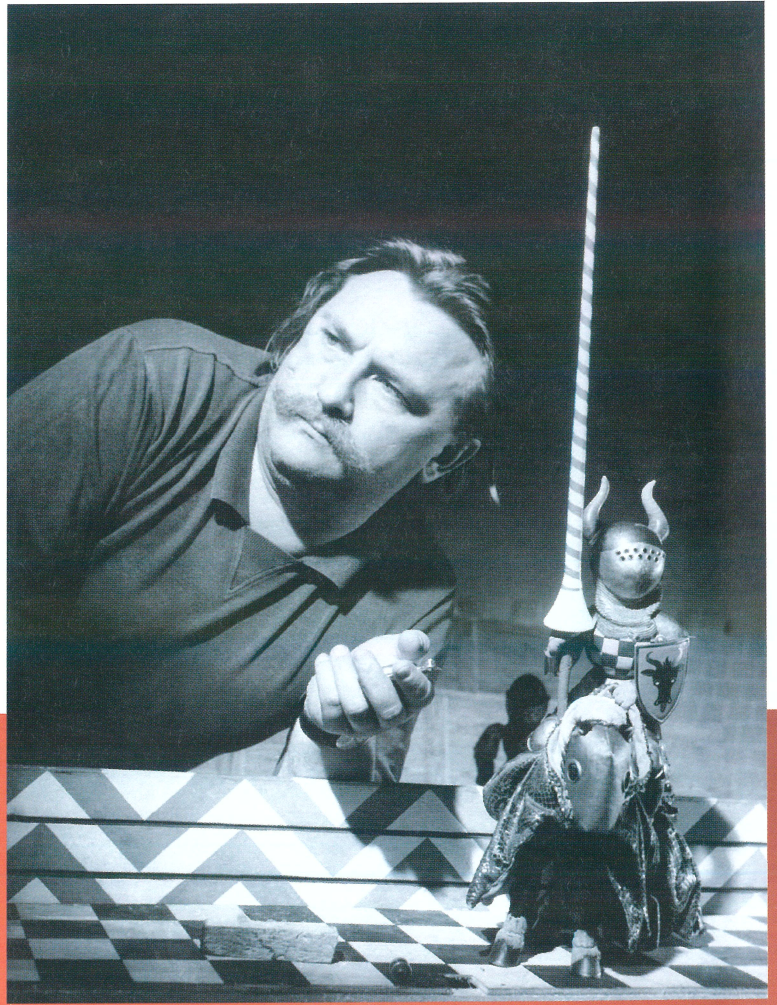


『チェコの童話』原画 1944年



『不思議の国のアリス』原画 1962年

子どもの本に向けたまなざし



Jiří Trnka

チェコ・アニメの巨匠

イジー・トゥルンカ展

2004年4月24日[土] - 5月30日[日]

開館時間=9:00-17:00(入館は閉館の30分前まで)

休館日=4月26日[月]、30日[金]・5月6日[木]、10日[月]、17日[月]、24日[月]

刈谷市美術館 第1、第2、第3展示室

主催=刈谷市、刈谷市教育委員会、刈谷市美術館、朝日新聞社
後援=チェコ共和国大使館、日本チェコ協会、愛知県教育委員会、
日本国際児童図書評議会 企画協力=I.D.F.Inc.

入場料=一般600円(400円)、高大生400円(200円)

中学生以下は入場無料。()内は前売及び20名以上の団体料金。

前売券の販売先=サークルK(愛知・岐阜・三重・長野県下の各店舗)、チケットぴあ、
ファミリーマート他

※身体障害者・精神障害者保健福祉・療育の各手帳所持者及び
付き添いの方(1名)は入場無料。手帳をご持参ください。

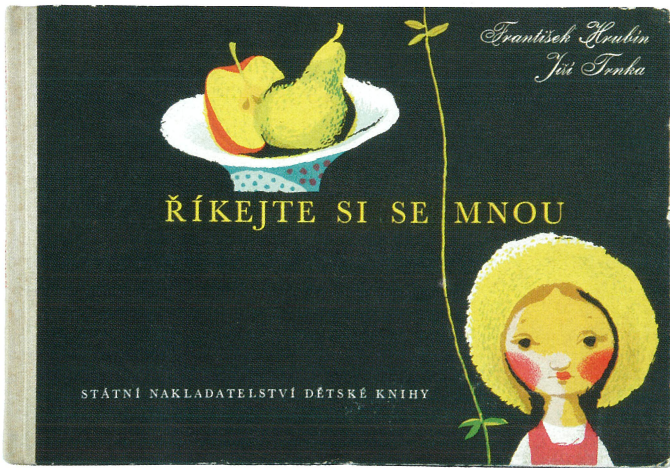
同時開催：常設展示「新収藏品展」(特別展示室)

刈谷市美術館 〒448-0852 愛知県刈谷市住吉町4-5
TEL.0566-23-1636 FAX.0566-26-0511
<http://www.city.kariya.aichi.jp/museum/>



『バヤヤ』人形「道化師」1950年頃

チェコ・アニメの巨匠 イジー・トゥルンカ展 子どもの本に向けたまなざし



絵本『こえにだしてよみましょう』1943年



『ヤクブおじさんとペトルぼうや』原画 1942年



『ヤクブおじさんとペトルぼうや』原画 1942年



『チェコの童話』原画 1944年



『チェコの童話』原画 1944年



『アンデルセン童話』原画 1957年

東欧の小国チェコでは、17世紀以来、人形劇が近隣の大国から母国語を守る意義を持ったメディアとして親しまれています。そして、人形劇の伝統と技術を受け継いだパペット(人形)・アニメーションが、独自の発展を遂げてきました。そのパイオニアとして世界的に活躍した芸術家が、イジー・トゥルンカ(1912-1969)です。第2次世界大戦後の1945年からアニメーションを撮りはじめたトゥルンカは、1946年カンヌ映画祭ではウォルト・ディズニーをおさえて大賞を受賞しました。一方で、彼は1968年国際アンデルセン賞を受賞した絵本作家でもありました。トゥルンカが描き出したアンデルセン童話などの子どもの本に向けたイラストレーションには、人形劇や絵画のジャンルで長年培われた経験から、繊細な色彩と緻密な表現による詩的な芸術世界が発揮されています。しかしこれまで、多岐にわたるトゥルンカの創作活動は、ほとんど紹介されてきませんでした。

本展は、トゥルンカの遺族とプラハのクラートキー・フィルム(旧国営アニメーション・スタジオ)等の協力により、貴重な絵本原画などを中心に、映像作品の上映やアニメーションで使われた人形など約180点を紹介する日本で初めての本格的な展覧会です。「チェコ・アニメ」を通じて知られたトゥルンカの創作活動を、一人の多角的な芸術家像として振り返る絶好の機会となるでしょう。

会期中の催しもの

I 人形劇団「さくらぐみ」の上演

4月24日[土] 午後 3時-4時
4月25日[日] 午前10時30分-11時30分
美術館2階研修室 参加無料
※高校生以上の方は要展覧会チケット
当日受付

人形劇団「さくらぐみ」は群馬県高崎市在住の女性ばかりの市民劇団です。高崎市と姉妹都市のチェコ・ブルゼニ市(トゥルンカの生誕地)から招聘公演をした人形劇団との交流によって結成されました。今回は、オリジナルの人形劇『おしょうさんとぎつね』の上演とともに、本場チェコの人形劇団から指導を受けたお話も披露させていただきます。

II 期間限定カフェ「バヤヤ(Bajaja)」

4月28日[水]、29日[木]・5月22日[土]、23日[日]
開催時間=午前11時-午後3時30分

展覧会にあわせて、美術館隣の茶室(佐喜知庵)では、チェコで親しまれているお菓子を再現する期間限定カフェ「バヤヤ」を開催します。チェコ風のお菓子と飲み物で楽しいひとときをお過ごしください。なお、お菓子は数に限りがありますので、お早めにお越しください。「バヤヤ」開催中の呈茶(お抹茶)はありません。あらかじめご了承ください。

III つくる&みるプログラム

①「つなぎコトバ絵本」

5月9日[日] ①午前10時-正午
②午後 2時-4時
対象：小学1年生から4年生の親子
参加費：100円(レクリエーション保険代)
定員：各親子12組(親子1組2名)
※保護者の方は要展覧会チケット

トゥルンカさんの作品に出会ったら、どんな感想を持ちますか?頭に浮かんだ言葉を手がかりに絵本をつくります。最後に親子そろって発表もします。

②「チャレンジ!人形劇」

5月15日[土] 午後 1時-午後4時
5月16日[日] 午前10時-午後4時
(2日間連続の内容です)

対象：小学5年生から高校生(18歳まで)
参加費：200円(レクリエーション保険代)
※高校生は要展覧会チケット
定員：24名

トゥルンカさんの作品を鑑賞した後、みんなで人形劇をつくります。シナリオや人形づくりもオリジナルです。どんな仕上がりになるかな?講師：各回すべて山口ももこさん(美術家)

申し込み方法：「往復はがき」か「FAX」にて、参加したいプログラム名(①は時間帯も明記)、参加者名(ふりがな)、住所、TEL/FAX、年齢(学年、学校名、保護者名)をご記入のうえ美術館までお申し込みください。なお、返信用はがきにも住所と名前を記入してください。

※定員を超えた場合は抽選とし、結果をお知らせします。しめきりは、それぞれの開催日の10日前(必着)まで。

あて先：〒448-0852刈谷市住吉町4-5
刈谷市美術館 FAX.0566-26-0511

IV 見かた発見ツアー

毎週木曜日(5/6は除く)
①午前10時30分-11時30分
②午後2時-3時
対象：18歳以上 定員：各6名(先着順)

作品鑑賞をあなたが見ることからはじめませんか?そうした見方を参加者全員で話し合うことで、さまざまな見方を発見するツアーです。参加無料(要展覧会チケット)開始時刻に1階ロビーの展覧会入口へお集まりください。

V ガラリートーク

4月25日[日]、5月22日[土] 午後2時-3時
聴講無料(要展覧会チケット)開始時刻に1階ロビーの展覧会入口へお集まりください。

【交通のご案内】

◎JR・名鉄三河線「刈谷駅」下車、南口より徒歩10分
※「刈谷駅」はJR「名古屋駅」から快速で約15分
◎車：名古屋方面より=国道23号線(知立バイパス)「一ツ木」出口から約5km 駐車場60台(無料)



Kariya City Art Museum
刈谷市美術館
〒448-0852 愛知県刈谷市住吉町4-5
TEL.0566-23-1636 FAX.0566-26-0511
http://www.city.kariya.aichi.jp/museum/

みみより情報

◎会期中刈谷市美術館とかわら美術館の2館のチケットを購入される方には特別割引をいたします。
◎無料シャトルバス5月7日[金]のみ運行
10:00 かわら美術館発⇒刈谷市美術館
14:00 刈谷市美術館発⇒かわら美術館
10:30 刈谷市美術館発⇒高浜港駅
10:55 高浜港駅⇒かわら美術館
11:00 かわら美術館発⇒刈谷市美術館
11:30 刈谷市美術館発⇒かわら美術館
13:30 かわら美術館発⇒刈谷市美術館
14:00 刈谷市美術館発⇒かわら美術館
15:00 かわら美術館発⇒刈谷市美術館
15:30 刈谷市美術館発⇒かわら美術館
16:30 かわら美術館発⇒高浜港駅
16:35 高浜港駅⇒刈谷市美術館